ウエルインベストメント株式会社

【概要】

ウエルインベストメント （WERU INVESTMENT） は、早稲田大学アントレプレヌール研究会 （現早稲田大学ビジネススクール管轄） の発足を活動の起源とし、約 20 年間にわたって、大学のラボから生まれたテクノロジーの事業化やイノベイティブな事業の成長支援を行ってきた、独立系・ハイブリット型(（アカデミック／ビジネス）ベンチャー・キャピタルである。

バイオ・テクノロジー、流通、情報通信、金融分野における起業や成長支援を行ってきている。特に、日本おいては数少ない金融ベンチャー育成の実績がある。

世界的に通用するディスラプティブな技術やイノベ―ティブなビジネス・モデルを有するアーリー・ステージ企業に投資し、ハンズ・オンで支援を行う。

ウエルインベストメント株式会社の特徴

	A	Aに近い	比較的Aに近い	どちらでもない	比較的Bに近い	Bに近い	B
投資先企業の経営に対する姿勢	経営者の自主性に任せる（ハンズオフ）			★			経営に積極的に関与する（ハンズオン）
投資対象の分野	多様である		★				特化している
投資実績の多いステージ	”レイター”が多い					★	”シード”や”アーリー”が多い
投資の形態（ファンドの活用状況）	本体からの投資が多い					★	ファンド（投資事業組合等）からの投資が多い
リード・インベスターのスタンス	リード・インベスターであることが少ない				★		リード・インベスターであることが多い
種類株式の活用	種類株式の利用に消極的		★				種類株式の利用に積極的
営業範囲（国内）	広範に拠点を設置（全国展開型				★		一部地域に限定（地域展開型）
VB発見手法	組織的な仕組みによる			★			個人の活動による
VBの技術力を評価審査する方法	外部機関に評価や審査を依頼				★		自社のキャピタリストが評価や審査を実施
組織の独立性	親会社からの影響力が強い					★	親会社からの影響力は弱い

（1）企業概要

VC の基本情報					
設立年	1998 年 6 月				
資本金	461 百万円				
従業員数	8				
株主構成	非公開				
本体投資	総投資額(残高)	非公開	投資事業組合	総投資額(残高)	非公開
	総投資企業数(残高)	非公開		総投資企業数(残高)	非公開
	総投資額	非公開		投資事業組合数	非公開
2014 年に予定している投資企業数		非公開			

営業地域・拠点	東京
本社所在地	東京都新宿区喜久井町 65 番地　糟屋ビル 3 階
問合せ先窓口	http://www.weruinvest.com/contact_jp.html
ホームページ	http://www.weruinvest.com/index.html

【保有ファンド】

非公開

【グループ会社】

無し

【沿革】

1993 年　早稲田大学アントレプレヌール研究会　（WERU）発足

1998 年　早稲田大学アントレプレヌール研究会　（WERU）、早稲田大学、金融機関が中心となり、エンジェル投資を強みするベンチャー・キャピタルとしてウエルインベストメント株式会社設立

2000 年　ウエルインベストメントの支援先企業の株式公開第 1 号誕生

2004 年　ウエル技術ベンチャー投資事業有限責任組合を設立。中小企業基盤整備機構から出資を受ける

2006 年　早稲田 1 号投資事業有限責任組合を設立。中小企業基盤整備機構から、2 回目の出資を受ける

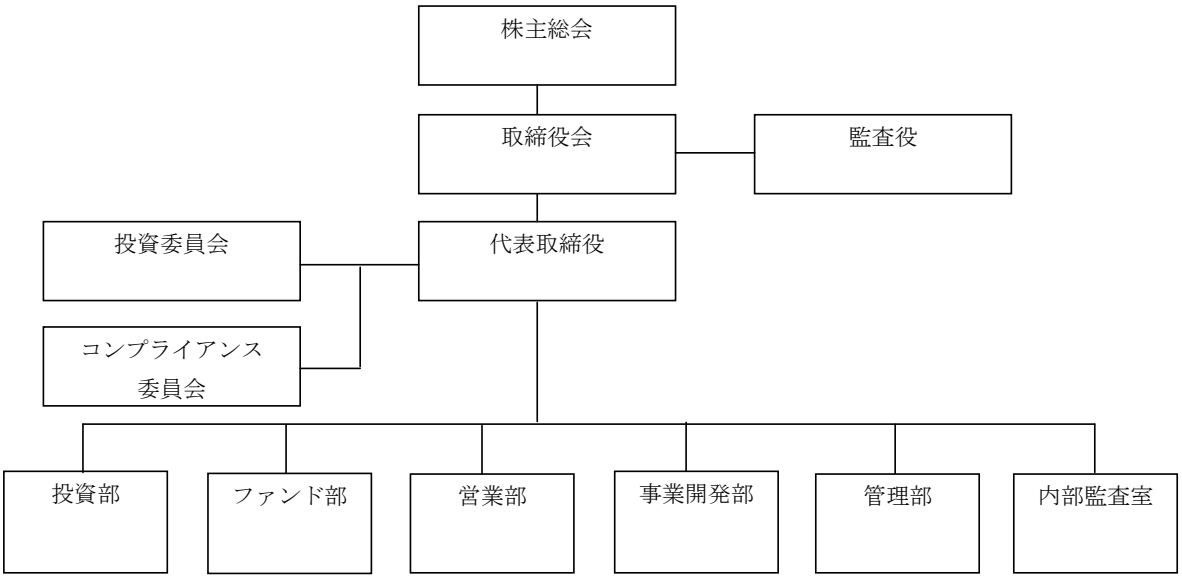
2011 年　投資運用業、第二種金融商品取引業登録（関東財務局長（金商）第 2585 号）

2012 年　文部科学省　大学発新産業創出拠点プロジェクト（START）　事業プロモーター

2013 年　経済産業省　新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業　支援者

2013 年　2013 年 6 月 30 日時点における投資一任業務に係る内部統制の保証報告書（Type1）を監査法人より受領

【組織図】



■経営陣やスタッフの経歴、組織構成

ベンチャーキャピタリストの人数	4 人
ベンチャーキャピタリストの平均投資経験年数	約 10～15 年

■代表的なキャピタリストのプロフィール、投資実績、IPO 実績

（1）代表的なキャピタリスト

瀧口　匡

早稲田大学大学院博士課程修了。学術博士（国際経営）

早稲田大学アントレプレヌール研究会理事

日本ベンチャーキャピタル協会監事

文部科学省 STARTS プロジェクト代表事業プロモーター

早稲田大学ビジネススクール非常勤講師

書籍「日本のイノベーション」1 巻～3 巻

代表的な投資（IPO 案件）

・GNI（2007 年上場）

・シンバイオ製薬（2011 年上場）

（2）投資戦略について

＜投資方針＞

■投資対象分野、業種、ステージ、地域

・特定の業種・業態に絞ってはいない。”イノベーション” ”グローバル”をキーワードとして投資対象の選定をしている。

■重点をおくセクター、テーマ、地域

【セクター、テーマ】

		詳細項目		
通信ネットワーキング及び関連機器		□ロボット技術	□センシング技術	□
コンピュータ及び関連機器、IT サービス		□M2M	□ネットワーク・セキュリティ技術	□ウェアラブルコンピューティング
ソフトウェア		□Web サービス	□クラウド技術	□CtoC Web サービス
半導体、電機一般		□デザイン家電	□ガジェット	□モバイル用 CPU
バイオ、製薬		□再生医療	□創薬	□創薬支援
医療機器、ヘルスケアサービス		□医療機器開発	□訪問看護	□臨床試験
工業、エネルギー、その他産業		□機能性新素材	□資源開発	□バイオ燃料
メディア、娯楽、小売、消費財		□ゲーム開発	□ニュース、ブログ自動選別配信	□カジノ
金融・不動産、法人向けサービス		□不動産開発	□金融情報サービス	□データ解析
クリーンテクノロジー関連		□EV、水素自動車	□太陽光・風力・海洋等発電技術	□省エネルギー・畜電力
特定しない（すべて）	■			

特定の業種・業態に絞ってはいない。”イノベーション” ”グローバル”をキーワードとして投資対象の選定をしている。

「技術」面だけでなく、従来とは異なる手法、仕組みによりその業種・業態のあり方を変えるベンチャーへの投資も実施している。

現在の投資実績では、IT ベンチャー、創薬系ベンチャー、ヘルスケアベンチャー、製造業ベンチャー、流通ベンチャーがある。

【地域】

	該当地域	理由	社数 （社）	金額 （億円）
北海道				
東北地方				
関東地方（東京を除く）				
東京都				
中部地方				
近畿地方				
中国地方				
四国地方				
九州・沖縄地方				
アジア・太平洋地域				
欧州地域				
北米地域				
その他の海外				
特定しない（すべて）	○		非公開	非公開

■リードインベスターの方針

基本的にはリードインベスターのポジションを獲りにいく方針である。

またスタートアップ、アーリー・ステージでの投資が多く、必然的にリードとなるケースが多い。

■案件ファンディングの体制、方法

ウエルインベストメントは大学や企業などの組織にとらわれず、また、研究者や学生などの属性にとらわれず、国家プロジェクトから学部学生まで、極端なまでの中立的ソーシングのポジションにある。そして、各種ネットワークからの紹介を含め、案件ファンディングはウエルインベストメントのキャピタリストが中心となって行っている。

また、文部科学省の START プロジェクト事業のプロモーターとして採択されているため、文部科学省管轄の科学技術振興機構から起業前の案件（事業化案件）が紹介される。（参考：START プロジェクト　http://www.jst.go.jp/start/　）

■VB との接触方針、接触からの投資検討（審査）に至るまでの期間

・資金調達ニーズがあれば速やかに検討を開始する。

■ハンズオン、メンタリング

・必要に応じて実施をする。

（3）投資までのプロセス・審査基準等

■審査開始から投資実行までの期間

・検討案件による。

■審査時に必要な資料

検討するステージ・業種等により異なるが、一般的なものは下記の通り。

過去の受注明細（製品別、売上先別）、足元の受注明細（製品別、売上先別）、受注見込み明細（製品別、売上先別）、売上先トップ 10、仕入先トップ 10、資本政策・株価推移（株主、時期、株価、株数、潜在株式数）、事業計画・IPO 計画概要役員経歴（生年月日、学歴、職歴）、株主名簿新株予約権名簿、謄本写し、定款写し、決算書、勘定科目、明細資金繰り表、直近の月次試算表、銀行別借入残高表、組織図（人員配置計画）など。

■審査前に重視されるポイント

・ビジネスモデルや業種特性などに加え、企業のインタンジブルズを定性的、定量的に評価を行うため、経営チームのトップを支える体制（つながりの強さ）、人材を集める力、誠実性などを評価している。

■審査プロセス

	プロセス	内容	審査上のポイント
I	投資委員会	投資戦略の決定。	

■投資形態

・追加投資については　仔細は案件ごとに異なる。資金調達ニーズに基づき都度検討を実施する。

＜投資業務以外の主要提供サービス＞

■提供可能な支援メニュー一覧

項目	内容
コンサルティング	経営に関する助言
事業化支援	起業シーズの事業化にかかる支援
営業、PR、マーケティングの支援	販売先、メディアの紹介・斡旋、アプローチリストの作成
経営人材（CTO、CFO、社外役員）の派遣	取締役の派遣
人材の育成	経営チームのメンタリング
合併・提携の斡旋	業務提携に関する支援
情報・施設等の提供	業界動向・経営環境等に関する情報の提供
内部管理体制の構築	内部管理体制の整備

■支援事例

業界動向の情報提供についてはアメリカ（シリコンバレー）等に見学/市場調査/相談に行く際に同行しウエルイベンストメントが持つネットワークを通じて訪問先を紹介することもある。その他、海外展開を目指すベンチャー企業へのアドバイスは随時実施している。